

先日 7 月 12 日は北海道南西沖地震に伴う倶知安連隊の災害派遣から 10 年であった。隊区外でもあり、担当地域内の情報収集に大童であった私に奥尻島への災害派遣が命令され、それから一週間奥尻島での災害派遣活動に従事した。報道によると彼の島も相当に復興したようだ。災害の悲惨さと行政のガバナビリティの重要性を感じさせられた一週間だった。

環境省は、昭和 60 年 3 月に、全国各地の湧水や河川の中から、水質・水量、周辺環境(景観)、親水性の観点から保全状況が良好であること、地域住民等による保全活動の存在を必須条件とし、規模、故事来歴、希少性、特異性、著名度等を勘案して、推薦のあった 784 件の内から 100 件を『名水 100 選』として選定した。(784 件から 100 選を除いた 684 件中に含まれている北海道の名水候補を問い合わせたが、色々と誤解を招くことも多いとかで、教えて貰えなかったので、悪しからず。)

同 100 選中に北海道からは 3 つが選ばれている。私がかって勤務した倶知安の隣町、京極町の噴出し公園の「羊蹄吹き出し湧水」は、出張の度に、司令部に上納したものだ。名水で淹れたコーヒーやお茶や一味違ふと評判が良かった。

他の二つは、千歳市のナイベツ川湧水、利尻岳山麓の甘露泉水であり、これらは何れも火山山麓の湧水である。

ただ、残念ながら、朔東管内からは選定されていない。それでは全く名水と言われるものが存在しないかという左にあらす、幾つかあるようだ。

各市町村のホームページを開いても関連情報はなかったもので、水に関する各種の HP に記載されているものをピックアップしてみた。

- ① 糠平温泉「森の清水」(上士幌町)
- ② 来運の水(斜里町)
- ③ 摩周の霧水(標茶町)
- ④ 神の子池(清里町)
- ⑤ 突然湧出湧水(池田町)
- ⑥ 日高山脈の雪解け水・フンペの滝(広尾町)

以上の各名水の概要は、(<http://homepage3.nifty.com/mizunotabi/hokkido.htm>) にアクセスして確認して下さい。

- ⑦ 銀霊水(東藻琴村)
- ⑧ 長命水(小清水町)
- ⑨ 赤玉の井戸(浜中町)
- ⑩ 達田ペチベツ川(津別町)
- ⑪ 仁頃名水公園(北見市)

以上に関する概要情報は、(<http://www.d1.hotcn.ne.jp/~a-kiyota/meisui3.htm>) にアクセスして確認して下さい。

- ⑫ 竜神の池(斜里岳登山道)
- ⑬ 本別町の水  
(来運の水も記載されている。)

名水ポイント (<http://www.users.eoalac-net.ne.jp/liner/meisui/east.htm>) にアクセスして確認して下さい。

知られざる名水を紹介する。それは、清水町美蔓にある、地元の人が「サホロの水汲み場」(通称)と呼んでいるものである。清水町の有名ソバ屋のご主人は、「お不動様の水」として崇めている。この水を使って蕎麦をうっている？ お賽銭箱を設置して、浄財を地元の神社に寄付している。地元の町民にもじわりとこの水のことが知れ渡り、ご利益があると思いきみ水汲みに訪れている。尚、参考までに、町に水質検査を依頼し、異状がない事が確認されていると言われているが、申し訳ないが真偽は不明である。飲んだ事のある自衛官によると味は良いという。

名水と雖も、生水を飲むのは憚れる。エキノコックスが怖い。北海道のエキノコックスは多包性のものであり、体長 4mm 程の白い虫である。もともとは北海道に分布していたのではなく、北方諸島から侵入してきたと考えられている。毛皮と野鼠駆除を目的に移入されたキツネに多包性条虫感染個体があったので、1937年に礼文島で初患者が発生した。最大の終宿主キタキツネの小腸に寄生して卵(直径 0.03mm)を産み、それが糞と共に排出され、草や水に紛れ人間の体内に入る。人間の肝臓に寄生し、自覚症状が出るまで 10 から 15 年に及ぶという恐ろしい病気である。肝機能障害に伴う発熱や貧血、黄疸などの症状を引き起こす。

根室・釧路を含む道東での流行(1965年~1997年?)は、北方諸島を千島中部まで強制的に移動させられたキタキツネが流氷に乗って北海道に渡ってきて大流行の因を作ったと推定されているようだ。この事からも解るように、かつては、エキノコックスは道東地域の風土病と言われたが、今では、道内全体の 90%以上の地域で確認されている。

自衛官が罹患した例は極めて少ない、道内勤務の者は定期的に検診を受けることとされている。民間では、年に 10~20 名程度発生している。道外でも発見・報告されている。感染症法では、エキノコックス症を四類感染症全数把握疾患に指定し、全患者発生例の報告を義務付けている。因みに北海道エキノコックス協議会が、1998 年迄に認定した患者数は累計で 383 名である。

対策は野苺や山菜は良く洗ってから食し、清流といえども生水は飲まない。沸騰させてからならば、可也。手洗いの励行、集団検診の受診などが必要だ。検診で見つかった場合に治癒率は、100%に近いといわれている。外科的切除が唯一の根治的治療法である。

流れる水なら飲む人も居るようだが・・・、また、湧水も 100%安全とは言えないと言われているが・・・

最近では、中間宿主の野鼠を介して、飼い犬が宿主になっているケースが多く、エキノコックスの危険が、人家に近付いてきている。キタキツネの感染率は 40%程度とも言われ、心ない観光客が餌を与えたりしているが、厳に慎んで貰いたいものだ。

(参考：名水に関する環境省はじめ各種HP、厚生省国立感染症研究所のHP、聞き取り etc)